



怨霊としての菅原道真公



菅原道真公

篠岡神社報

「祭神とご利益について」

りやく

天満宮は学業成就、八幡宮

は勝負事、お稲荷さんやえび
すさんは商売繁盛…多くの神
社には「ご利益」と呼ばれる
参拝、崇敬の「見返りの要素」
があります。では、これらは
その神社の創建や祭神に対す
る信仰が生じた当初からあつ
たものなのかと言うと、そう
いうわけでもありません。

全国の天満宮で祀られる菅
原道真公の総本社は九州の太
宰府天満宮ですが、大宰府は
道真公が左遷され没した地で
す。道真公没後に都で凶事が
続きそれが道真公による祟り
であるとされ、その怨霊を鎮
める為に創建(西暦九一九年)
されたのが太宰府天満宮で
す。怨霊として畏怖の対象で
あった道真公が「学問の神」
として広く定着したのは、私
見も入りますが概ね江戸時代
以降では無いでしょうか。

惣村が成立し氏

神(産土神)神社の
創建が盛んになつ
た中世後期、または
江戸時代に入り社
会が安定すると
人々にも余裕が出
てきて、学問等に関
心を向けることが
出来るようになり、

そこで当時から一
級の知識人として
評価の高かった道
真公への関心も高
まり、それが現在に
至る「菅原道真公」
学問の神としてあ
やかる「事に繋がっ
たもの」と思われま
す。下末の天満天神
社は西暦一六五八
年とされるので、元
から怨霊信仰では
なく学問の神とし

てのご利益を求め
たのでしょうか。尚、

篠岡地区で怨霊信
仰を元とする神社
としては、大山の児
社が挙げられます。
元々当地にあつた
寺が焼き討ちに遭
い社僧と子供の修
行僧が死亡、その怨
霊を鎮める為の創
建とされ、現在は子
供の守り神として
信仰されています。
他に八幡神(八幡
宮)が勝負事の神と
されるのは源氏の
氏神であつたから、
稲荷神社が商売繁
盛で信仰されるの
は産業の基本であ
る農業において五
穀豊穡を司るから、
等々々な(裏面へ)

上末 八幡社
大字上末字新田一二五番地

下末 天満天神社
大字下末字天神前一四七五番地

池之内 八幡神社
大字池之内字雨作六三一番地

林 三明神社
大字林北一〇一番地の一

野口 白山社
大字野口字神尾前二八七七番地

野口 神明社
大字野口字勾当田二五七七番地

野口 八幡社
大字野口字惣門二二〇七番地

大山 児社
大字大山字郷島四一二番地

発行

宮司 加藤祐佑

〇五六八・七七・四三二〇

ホームページ「東春神社考」



理由がありますが、その殆どは後世に、御祭神の事跡(菅原道真公)であるとか、特定の神を特に信仰した人物(八幡神と源義家)にさらにあやかる、又は何となく(その様な)利益がある(言われ続けて定着した…)など、実は明確な根拠があるものは殆どありません。当時の人の多くがそう思っていたのか、或いは誰かがいきなり言い出したのか…今となつてはそれを知る術はありませんが、これを「いい加減」と捉えるか「長い歴史の中で培われた伝統」と捉えるか、また、全く別の見方をするかは、その人次第では無いでしょうか。

祭典予定

四月

六日 兒社春祭

二十日 天満天神社月次祭

五月

六日 上末八幡社祈年祭

十八日 天満天神社歳旦祭

六月

二十二日 池之内八幡神社早苗饗

天満天神社早苗饗

上末八幡社早苗饗

七月

二十日 三明神社雲霞祭

天満天神社月次祭

※日程は変更になる場合があります。最新の予定及び詳細な時間は公式サイトをご覧ください。

お知らせ

下末マルシェ(開催済)

四月五日(土)、下末の天満天神社にて「さくらマルシェ」が開催されました。昨年は桜が未開花で生憎の雨でしたが、本年は満開晴天の下開催されました。来年以降の実施については都度ホームページ等でお知らせ致します。



桜について

本紙発行時点で桜は散り果てとなっていますが、本年含む過去の桜の様子(上末八幡社及び下末天満天神社)については、公式サイトよりInstagram又はYouTubeに

をご覧ください。

次回発行予定について

「篠岡神社報」次号008号は、七月中旬頃発行予定です。尚、印刷・回覧の手間、また「誰も読んでいないのではなにか」と言う指摘があるため、ホームページで電子版(現在もPDF及び画像でアップ)のみ公開する形を検討しています。紙ベースでないと…と言ったご意見がありましたらご連絡下さい。全く無ければ次回より電子版のみとする可能性が高いです。